

# ヨコハマトリエンナーレ 2020 7月17日（金）開幕を決定！

横浜市及び横浜トリエンナーレ組織委員会は、新型コロナウイルス感染症の状況を慎重に見極めながらヨコハマトリエンナーレ 2020 の準備を進めてきましたが、この度の緊急事態宣言解除を踏まえ、改めてヨコハマトリエンナーレ 2020 「AFTERGLOW-光の破片をつかまえる」の開催を決定いたしました。

会期は、7月3日（金）からの開幕を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症への十分な安全対策を講じるため、開幕を2週間延期して2020年7月17日（金）から10月11日（日）までといたします。

## 【ヨコハマトリエンナーレ 2020 開催概要】

会期	: 2020年7月17日（金）～10月11日（日）	開場日数	78日
休場日	: 木曜日（7/23、8/13、10/8を除く）		
開場時間	: 10:00-18:00		
	※10/2（金）3（土）8（木）9（金）10（土）は21:00まで開場		
	※会期最終日10/11（日）は20:00まで開場		
会場	: 横浜美術館	横浜市西区みなとみらい3-4-1	
	: プロット48	横浜市西区みなとみらい4-3-1	
主催	: 横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、 横浜トリエンナーレ組織委員会		
アーティストック・ディレクター	: ラクス・メディア・コレクティヴ (Raqs Media Collective)		

## 【ヨコハマトリエンナーレ 2020 の主な特徴】

### ■「AFTERGLOW-光の破片をつかまえる」

ヨコハマトリエンナーレ 2020 では、「AFTERGLOW-光の破片をつかまえる」と題し、目まぐるしく変化する世界の中で、大切な光を自ら発見してつかみ取る力と、他者を排除することなく、共生のための道を探るすべについて一緒に考えます。

### ■初の外国人ディレクター

インドのニューデリーを拠点に世界で活躍するアーティスト集団「ラクス・メディア・コレクティヴ」が、横浜トリエンナーレ史上初の外国人アーティストック・ディレクターを務めます。

### ■展示と「エピソード」の2部構成

作品の展示に加え、「エピソード」と称するパフォーマンスや講演会などのイベントを開催し、ラクス・メディア・コレクティヴの思考のプロセスを公開、共有していきます。

## 【主な新型コロナウイルス感染症対策】

開催にあたっては、(公財)日本博物館協会のガイドラインに沿って十分な安全対策を講じます。

- ・日時指定予約チケットの導入による入場制限
- ・来場者のマスク着用、手洗い・消毒、入場時の検温
- ・会場内の消毒、換気、対人距離の確保
- ・スタッフのマスク着用や検温の徹底

## 【チケット情報】

チケットは、日時指定の予約制となります。6月23日(火)からオンラインでの販売を開始し、会期中は会場窓口でも購入いただけます。

詳細については、6月22日(月)に組織委員会より改めて発表いたします。

<チケット価格>

一般	大学生・専門学校生	高校生	中学生以下
2,000円	1,200円	800円	無料

## 【会場案内図】



### お問合せ先

文化観光局文化プログラム推進課担当課長

梶原 敦

Tel 045-671-4310

横浜トリエンナーレ組織委員会プロジェクトマネージャー

帆足 亜紀

Tel 045-663-7232

## ヨコハマトリエンナーレ2020 「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」

### いま最も刺激あふれる現代アートは、横浜から世界へ

目まぐるしく変化する世界の中で、大切な光を自ら発見してつかみ取る力と、他者を排除することなく、共生のための道を探るすべについて、みなさんと一緒に考えます。



Photo : KATO Hajime

アーティストック・ディレクター  
ラクス・メディア・コレクティヴ

横浜トリエンナーレでは  
**初の外国人ディレクター**  
世界で注目されるインド出身の3人組

左から：シュッダブラタ・セーングプタ、  
ジーベシュ・バグチ、モニカ・ナルラ

#### 世界のトップを切って開催します

- 今こそアートが必要とされている、とのメッセージを発信します。
- 世界のアートファンやアーティストに勇気を与えます。
- 街に活気をもたらします。
- 万全のコロナウイルス対策で規範を示します。

#### 今こそ横浜から世界に伝えたい。 ラクスが掲げる5つのキーワード

「独学」たくましく学ぶ  
「発光」学んで世界へと光を送る  
「友情」光の中で友情を育む  
「ケア」互いに慈しむ  
「毒」否応なく存在する毒と共存する

タイトルの「アフターグローウ」とは？  
ビッグバンのあと宇宙に発せられ、  
今も私たちに降り注ぐ光のこと。  
時空を超えて広がる光のイメージ。

#### 展示の特徴

- 参加アーティスト：65組（66名+1グループ）（2020年6月現在）
- **若さ、新鮮さ**：1980年代、90年代生まれが35名 20代、30代が53%
- **参加地域の多様さ**：アジア31組、ヨーロッパ14組、中東8組、アフリカ4組、大洋州4組、北米1組、中南米2組 \*1組は未公表

## 横浜美術館

### ニック・ケイヴ Nick CAVE

1959年、ミズーリ州フルトン  
(アメリカ)生まれ、シカゴを  
拠点に活動。



《回転する森》2016  
©Nick Cave, Courtesy of the artist and Jack Shainman Gallery,  
Photo by James Prinz

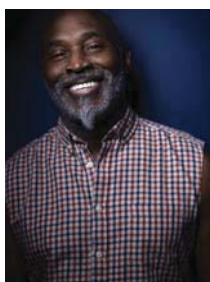


Photo by Sandro

### エヴァ・ファブレガス Eva FÀBREGAS

1988年、バルセロナ  
(スペイン)生まれ、  
ロンドンを拠点に活動。



Photo by Migue Barreto,  
TEA Tenerife Espacio de las Artes



《ボンピング》2019

## プロット48

### ファーミング・アーキテクト Farming Architects

2017年にズン・アン・ヴィエットとニャン・アン・タン  
が設立。ハノイ (ベトナム) を拠点に活動。



《THE SPACE COALITION》2020

### アリユアーイ・プリダン (武玉玲) Aluaiy PULIDAN

1971年、三地門郷 (台湾)  
生まれ、同地を拠点に活動。



《満開》2019  
© 伊誕創藝視界企業社, Photo by 王言度